

光村図書の教科書は「一番良い」?大阪府立大学教授 張ちやう 麟りんせい声

小、中学校の国語の先生方とたまに交流したりするが、その際にたびたび「会社の教科書がいちばんよい。」という言い方を耳にする。わたしは直接そのよつな教材を使う立場ではないので、「そうか、会社さんはいい仕事をしているのか。」と感心したりはするものの、たいていは聞き流している。ところがあるとき、その言葉を、ひらがなではなく漢字を使って右のタイトルのように書いてみたところ、愕然がくぜんとしてしまった。

「光村図書の教科書は一番良い」というフレーズは日本語としては最高の賞賛の言葉になるので、もし光村図書の人がこれを目にしたら、間違いなくいい気持ちだろう。しかし、日本語の分からない中国人の目に触れて、その中国人がもしも優しい心の持ち主ならば、「そうか、光村図書さんはだめになってしまったのか。」と、中国語で哀れんでくれることになるだろう。なぜなら「光村図書」「教科書」「良」などの漢字は中国語でも日本語でも意味が同じだが、「一番」になると、中

国語ではいくつかのニュアンスを表すことが可能で、その一つに「愛過一番（ひとたび愛した）」のように「ひとたび」という意味があるからである。つまり、「光村図書の教科書は一番良い」というフレーズは、「光村図書の教科書はひとたびは良かった。」と理解してしまうからである。

このように誤解されると、たまったものではないので、同じ言葉でも漢字を使わないで、「いちばんよい」としたほうがいいだろう。そして、

張 麟ちやう 麟りんせい声（ちやう りんせい）

大阪府立大学総合科学部教授。日中両国の言語、文化を比較という角度から研究。日本で出版された主な著書に、『日本語教育のための誤用分析 中国語話者の母語干渉20例』（スリーエーネットワーク）、『日中言葉の漢ちがい』（くろしお出版）などがある。現在、光村図書が発行する日本語教科書、新版中日交流標準日本語・初級の編集委員を務める。

実際、光村図書の教科書をめくってみると、副詞としての「イチバン」は「一番」ではなくて、「いちばん」としているし、「ヨイ」も「良い」ではなくて、「よい」としてある。でも、それは怪我けがの功名かなという気がしてならない。なぜなら、光村図書さんは漢字の正しい用法にのっとりていちばんよい国語の教材を作っているかもしれないが、中国語の素養もいちばんかどうかはなんととも言えないのだから。